

令和7年仕事納め式訓示

令和7年12月30日

みなさん、おはようございます。

今年も残すところあと2日となり、本日は「仕事納め」の日を迎えました。この一年、皆様には多大なるご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

まず、今年の水揚げ状況についてですが、エゾバフンウニの資源が懸念される中、水揚げ量は前年比88.4%の8,208トン、水揚げ金額は前年比103.9%の42億1,000万円と推計されており、水揚げ高は増加傾向を維持しております。

さらに、観光の状況については、観光入込人数が前年比89.1%の8万300人と減少に転じたものの、その一方では、インバウンド観光は好調を維持しており、台湾、中国、韓国を中心としたアジア圏に加え、欧米やオーストラリアからの来島者も増加しています。今年度の外国人宿泊客数は前年の約1.4倍となり、観光業に明るい兆しが見えています。このように、礼文町の基幹産業が好転に向かいつつある状況を、大変うれしく思っております。

一方、船泊GSの前浜では、平成20年に初めて確認された「礼文アツモリソウ」が、今年で約580リンにまで増え、当初、わずか5リンほどだったこの花が新たな群生地として全国に知られる存在となり、多くの観光客をお迎えするまでに至ったことは大変光栄であり、この花だけを目的に訪れてくださる多くの方々の姿を拝見し、深い感動を覚えている次第であります。

さて、今年、礼文町では24年ぶりに町長選挙が行われ、7月3日付で第6代町長として私が就任いたしました。就任以来、「ほっとする町、あたたかな礼文町」というスローガンを胸に、職員の皆さんとともに力を合わせ、未来を見据えたまちづくりの基盤を築くべく、日々全力で取り組んでまいりました。そして、早くも就任から半年が経過しようとしております、町長室の環境にもようやく慣れ、職務に取り組む体制が整いつつあるところであり、これからも、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りながら、町民に信頼される町づくりを目指して精進してまいりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

現在、礼文町役場では深刻な職員不足が課題となり、業務への影響が続いています。厳しい状況にもかかわらず町の業務を懸命に支えてくださっている職員の皆さんには、深く感謝するとともにお詫

び申し上げます。町民サービスの質を守り、その持続性を確保するため、職員の充足は喫緊の課題であります。これからも職場環境の整備に努め、職員が誇りを持って働ける役場づくりを進めてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。

礼文島は「日本最北の有人国境離島」として、領土・領海の保全に重要な役割を担う地域です。地域の安全を確保し、町民が安心して暮らせる環境づくりを進めることは、私たちの重要な使命であります。また、有人国境離島法の期限が令和9年度末に迫るなか、その延長はもちろん、稚内～千歳間の運賃低廉化の適用実現にも全力で取り組んでまいります。

更に、礼文空港の早期再開は、地域振興に欠かせない重要な課題です。今年の秋に開催された「礼文空港あり方検討会議」では、休止期間の延長が確認される一方で、民間航空会社からの就航の確約が得られた場合には、北海道が速やかに整備を進めるとの力強い言葉をいただきました。そして、9月には利尻空港と同型機であるATR42-600が佐渡空港での試験飛行に成功し、空港再開への期待が一層高まったところでもあります。

現在、有人国境離島法の改正に向けた議論が進められている中、航路や空路を維持・強化するためには「思い切った施策の展開」が

求められています。このような状況において、私は有人国境離島法を最大限に活用し、町民の生活を豊かにする施策を推進するため、全力を尽くしてまいります。また、一政治家としてこの重要な課題に真摯に向き合い、空港再開の「スタートラインに必ず立つ」という目標を実現するため、誠意を持って取り組み、国や北海道に対しても粘り強く要望を重ねてまいります。

国内外の情勢が不透明さを増し、物価高や少子化、人手不足といった課題が日本全体を揺るがしております。このような厳しい状況下においても、職員一人ひとりが「挑戦する気持ち」と「工夫する視点」を持ち続けることが、地域社会の貢献につながります。私たちの現場の力こそが、礼文町の未来を支える基盤となる訳であります。町民の安心・安全な暮らしを守るため、助け合いながら共に成長を続けていただきたいと思います。

私は度々申しますが「千里も道も一歩から」この信念を胸に、皆様と共に前進していきたいと考えております。

さて、明日から年末年始の休暇に入ります。この一年間の疲れを癒し、ご家族とともに健やかで穏やかな新年をお迎えください。本年の皆様のご支援に改めて感謝申し上げるとともに、1月6日に元気にお会いできる日を心より楽しみにしております。

以上をもちまして、仕事納めの挨拶とさせていただきます。今年
一年、誠にありがとうございました。